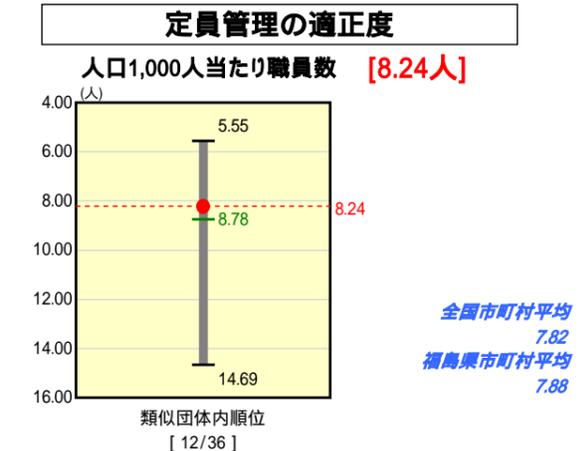
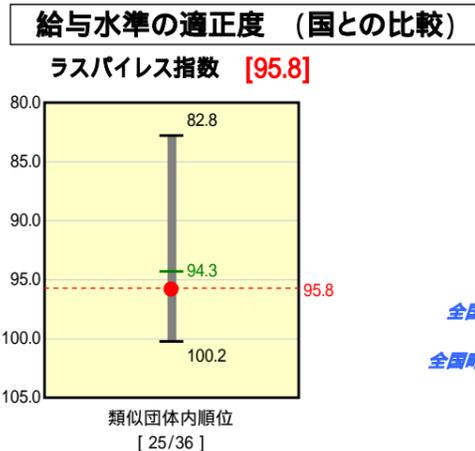
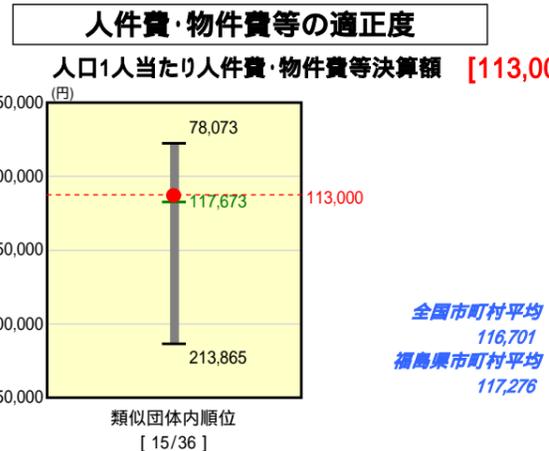
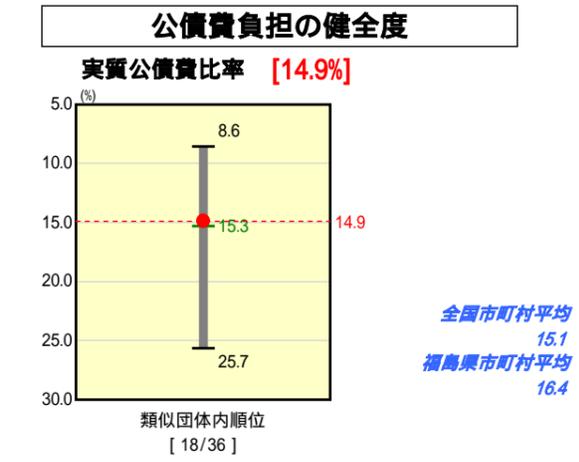
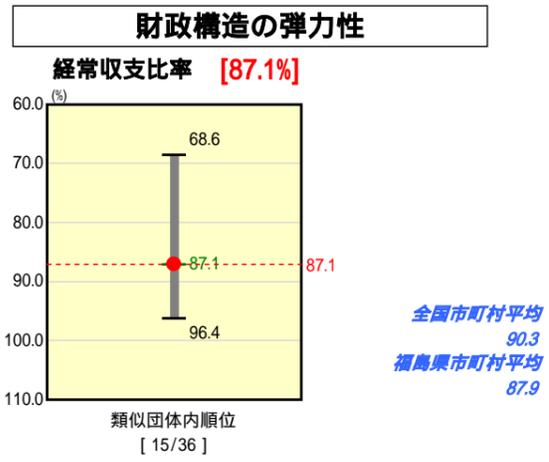
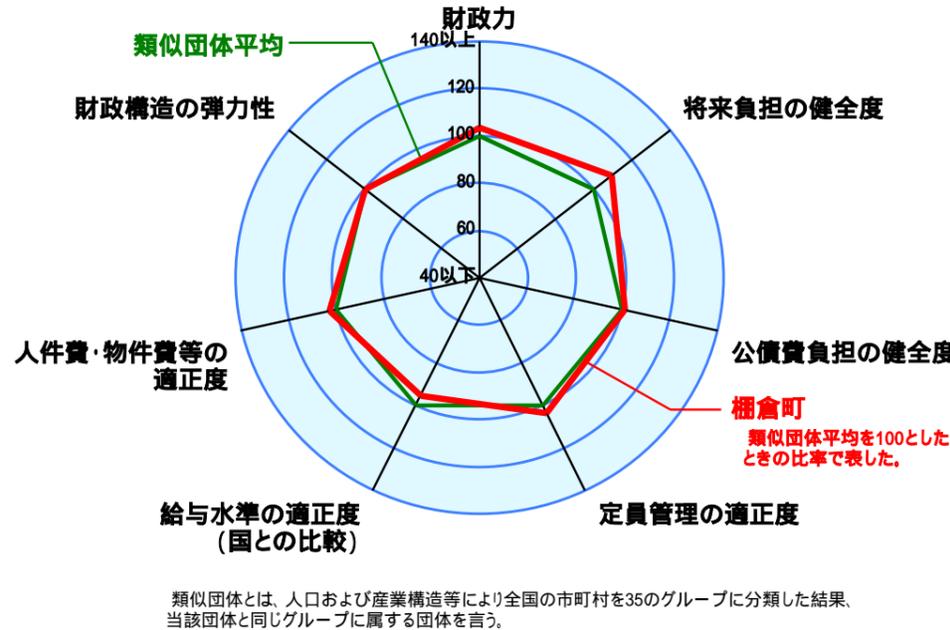
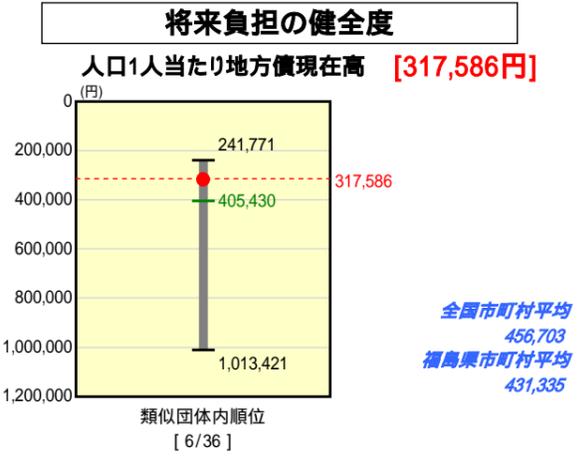
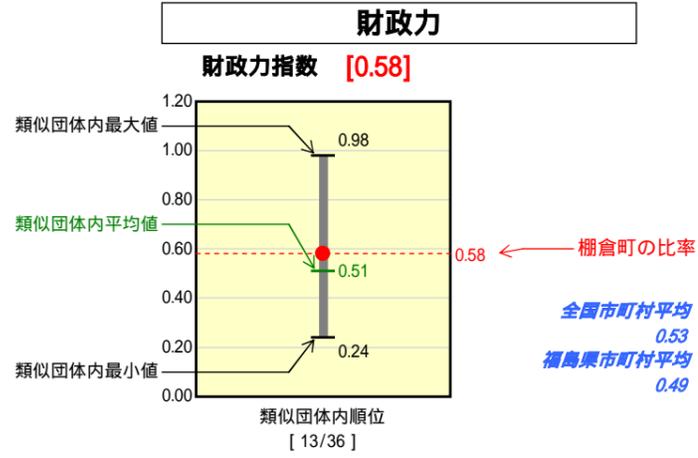


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

福島県 柵倉町

人口	15,781人	(H19.3.31現在)
面積	159.82	km ²
歳入総額	5,241,567	千円
歳出総額	5,083,491	千円
実質収支	122,663	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数：平成18年度では0.58となっており、類似団体平均値を上回っている。今後とも財政基盤の強化を図るため、投資的経費や物件費、補助費などの抑制に今後も努めていく。

経常収支比率：経常一般財源ベースにおける歳入では、対前年比で地方税31,800千円の減(1.6%)、地方譲与税約60,000千円の増(43.8%)、地方交付税普通交付税約254,000千円の減(18.9%)となり、歳入全体では約293,700千円減(6.6%)となった。

歳出では、人件費約4,000千円減(0.3%)、物件費約27,800千円減(5.1%)、扶助費約22,700千円増(4.8%)、補助費等約30,000千円減(5.0%)、文化センターや学校体育館の償還終了により公債費約8,500千円減(1.3%)、投資及び出資金・貸付金約10,800千円減(15.3%)、繰出金約83,700千円減(17.3%)となり、歳出全体で約141,200千円減(3.5%)となり、類似団体平均と同率の87.1%となっている。今後も行政改革の推進により、各種料金の見直しや受益者負担の見直しなどにより財源の確保を図るとともに、事務経費の削減や投資的経費についても重点選別主義の徹底を図っていく。

実質公債費比率：平成18年度決算からの実質公債費比率は3カ年平均で14.9%となっており、類似団体平均を下回っているものの、今後比率が高まっていくことが予測されるため、県の財政健全化計画や町独自で策定している振興計画実施計画を踏まえ、事業の抑制や重点選別主義により今後も実施していく。

人口1人当たり地方債現在高：これまでの事業実施による償還終了により類似団体より21.7%と大きく下回っているが、現在継続して実施している学校施設等耐震補強改修工事が計画されているため、他事業における地方債の発行を今後とも抑制していく。

ラスパイレス指数：当町の平均年齢となる44歳以上の職員が全体の51%を占めている状況で、高齢層が偏在しているため類似団体の比べ高い状況にある。

人口1,000人当たり職員数：類似団体を下回っているが、今後も平成14年度に策定した定員適正化計画に基づき抑制に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額：類似団体平均を約4%下回っているが、今後も定員適正化計画に基づき人件費の抑制や物件費及び維持補修費についても引き続き抑制に努める。